

2000 シンプル人口予測ダッシュボー

,, c-

町丁、イベントタイプ、効果方向を選択して人口予測を実行

■ 現在のシナリオ

選択町丁 イベントタイプ 効果方向

万楽寺町 commercial decrease

シナリオ詳細

町丁: 万楽寺町

基準年: 2025

予測期間: 1-3年先

イベントタイプ: commercial

効果方向: decrease

年オフセット:1年(翌年)

信頼度: 1.0

強度: 1.0

手動加算: h1=0.0人, h2=0.0人, h3=0.0人(固定值)

強度設定: 学習された強度(自動最適化)

■ 予測実行

🧳 予測実行

⊕年次別強度が適用されました:

1年目: intensity=1.000, lag_t=1.000, lag_t1=1.000

2年目: intensity=0.500, lag_t=0.500, lag_t1=0.500

3年目: intensity=0.200, lag_t=0.200, lag_t1=0.200

Step 1: 将来イベント行列を生成中...

http://localhost:8501/

1 / 4ページ

Step 2: 基準年データを準備中...

Step 3: 将来特徴を構築中...

Step 4: 人口予測を実行中...

✓ 予測が完了しました!

町

基準年

予測期間

万楽寺町

2025

1-3年先

▼ 復元チェックOK:Δ=非イベント成分+期待効果(率+手動)

期待効果の内訳 (率→人数換算+手動)

	年	期待効果 (率)	母数	人数換算(率×母数)	手動人数	合計(率+手動)
0	2026	0.00%	242	0	0	
1	2027	0.00%	221.4557	0	0	
2	2028	0.00%	201.1157	0	0	

内訳CSVをダウンロード

率由来合計

手動合計

期待効果合計

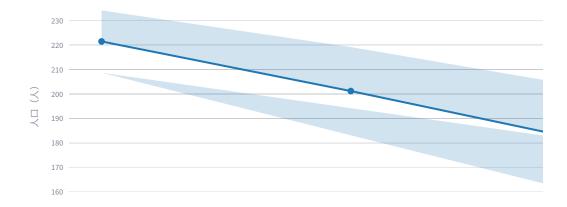
0.0人

0.0人

0.0人

✓ 人口予測パス

人口予測パス: 万楽寺町 (基準年: 2025)



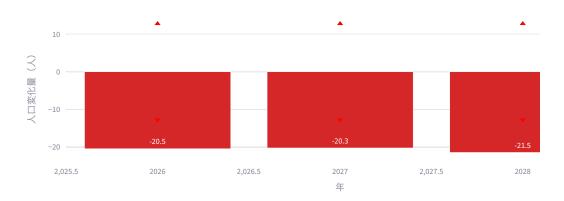
http://localhost:8501/ 2 / 4ページ

 2026
 2,026.5
 2027
 2,027.5

 年

■ 人口変化量(△人口)

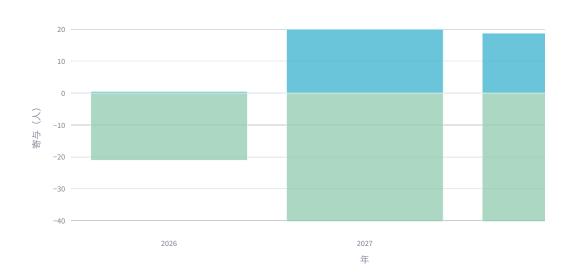
年別人口変化量



グラフにマウスオーバーすると「率・母数・人数換算・手動」の内訳が表示されます。

寄与分解

寄与分解 (積み上げバー)



● 年別寄与分解(円グラフ)

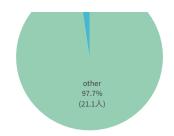
年を選択

2026

寄与分解: 2026年



http://localhost:8501/ 3 / 4ページ



■ 詳細データ

デバッグ詳細ファイルの読み込みに失敗しました: "['year'] not in index"

	年	人口	Δ人□	期待効果	マクロ	慣性	その他	,
0	2026	221.5	-20.5	0	0	0.5	-21.1	[:
1	2027	201.2	-20.3	0	0	20	-40.3	[
2	2028	179.7	-21.5	0	0	18.8	-40.3	[.

■サマリー統計

総人口変化	平均年次変化	最大期待効果	期待効果合計

-41.8人 -20.8人/年 0.0人 0.0人

↑ 221.5 → 179.7

Q_{i}	期待	効果	内	訳力	ナマ	IJ	_
---------	----	----	---	----	----	----	---

率由来合計 手動合計 合計

0.0人 0.0人 0.0人

> Debug: raw explain JSON(開発用)

> 計算式の説明

? ヘルプ

熊本町丁人口予測システム - シンプルダッシュボード

http://localhost:8501/ 4 / 4ページ